



2013年12月期 第2四半期
業績概要

2013年8月14日

株式会社SmartEbook.com

証券コード:2330

2013年12月期 第2四半期 業績概要

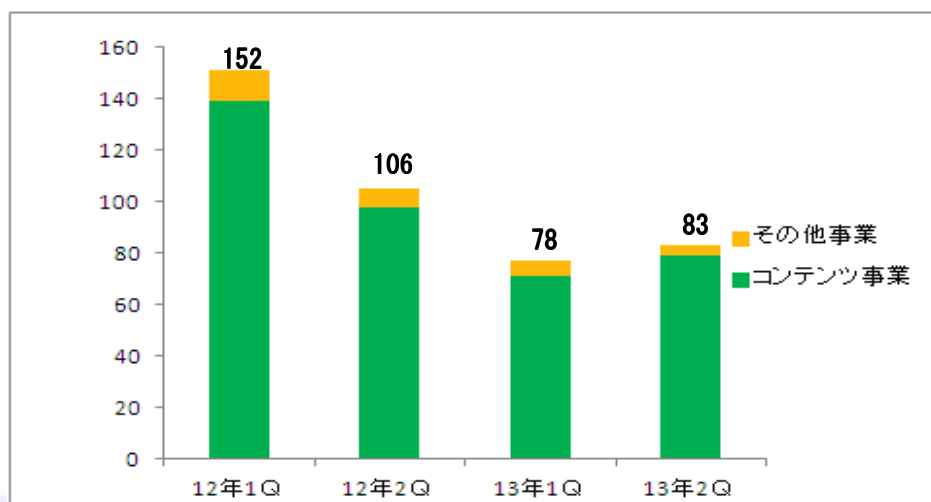
2013年12月期 第2四半期 概況

■損益の状況

	2013年2Q (6ヶ月)		2012年2Q (6ヶ月)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
売上高	161	100.0%	258	100.0%
営業利益	△ 685	-	△ 415	-
経常利益	△ 669	-	△ 368	-
当期利益	△ 683	-	△ 375	-

(単位:百万円)

売上高の推移



当第2四半期連結累計期間においては、第一四半期から継続して、新規エリアの協業パートナーリレーションとライセンス獲得を強化する為と、各プラットフォーム・ビューワーのローカライズを各地で効率的に行うべく、メキシコ・ブラジル・ベトナム・インドネシアに子会社の設立と営業拠点体制の整備を推進致しました。

また、中国及びASEAN地域と南米圏での大手出版社とのライセンス契約を更に促進しながら、協業契約を締結した中国ネット書店最大手の「中国図書館」や、中国SNSサービスの「QQ空間」、「朋友網」へ、当社の電子書籍や写真共有及びプリントができる、マルチメディアサービス「PhotoMate」の提供を進めてまいりました。

更に、大手協業先との提携サービスとしては、ベトナムの人気SNSサイト「Zing Me」での電子書籍サービスを開始し、インド大手通信キャリア「Aircel」での電子書籍サービス開始に向けた準備を行って参りました。

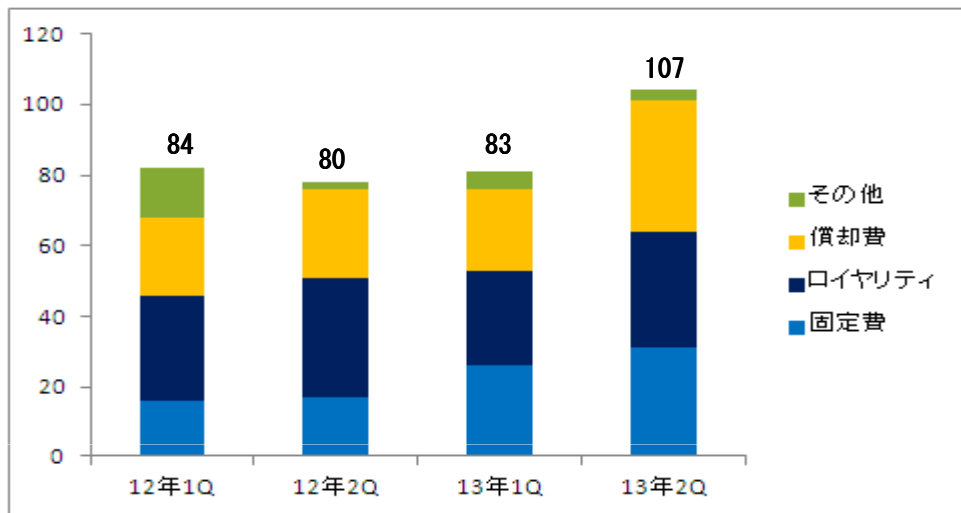
同時に当第2四半期からは、日本国内と中国にて自社BtoCサービスである「mobi-book」にて、プロモーション展開を実施し、当該期間中において26万人の新規会員を獲得することができました。しかし、当社においては無料お試し利用から有料会員化及び追加購入を促進するフリーミアムマーケティング展開を推進しており、その獲得会員が売上につながるまでには数カ月を要する為、第1四半期に比べては増収となったものの、前年度の売上規模を上回るまでには至りませんでした。

第3四半期以降に関しては、新サービスのリリースと、それに伴うプロモーション等を積極的に拡大し、収益拡大を見込みます。

原価・販管費の内訳と推移

(単位:百万円)

原価の推移



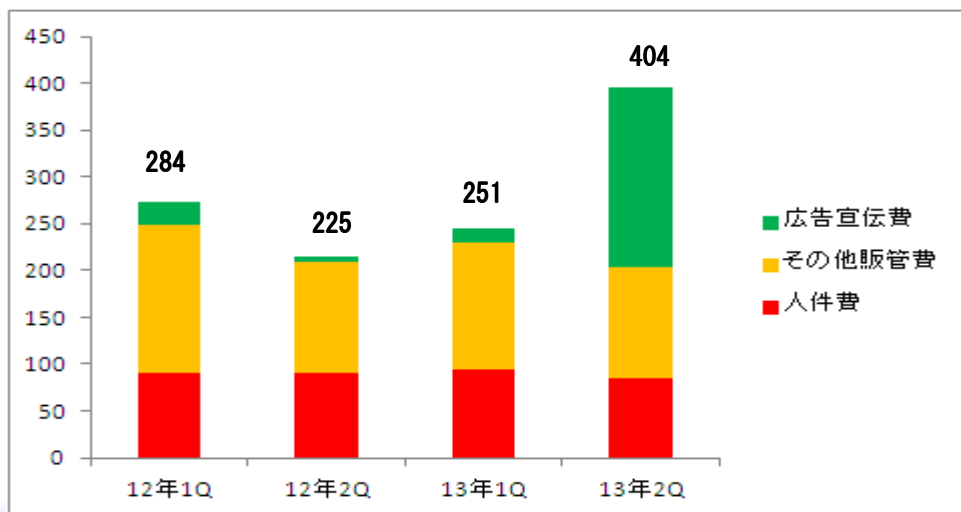
【原価】

当第2四半期では、Bigdataによる配信タイトルの自動化、配信管理データベースの自動登録のシステム化等の合理化を図りました。

また、世界各国で販売チャネル拡大を積極的に展開しているため、ソフトウェア資産の取得による償却費と海外展開するプラットフォーム向けのライセンス獲得に伴う費用が増加いたしました。

(単位:百万円)

販管費の推移



【販管費】

当第2四半期では、各ローカルエリアでの人員採用と体制整備が整い、本社と各ローカルエリアへの人員再編が完了いたしました。

しかしながら、2012年度下期より停止していたプロモーションについて、当第2四半期より日本と中国での、フリーミアム展開を主軸としたプロモーションを実施した為、広告宣伝費は増加いたしました。第3四半期以降の収益確保に向けての施策として積極的な広告宣伝費投資を行っております。



SmartEbook.comは
e-booksビジネスに特化し、
『一步一步を、着実に。』歩んで参ります。

—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社SmartEbook.comに属します。